

改修物件概要

築年数 32年 建築面積 60坪 工期 2カ月

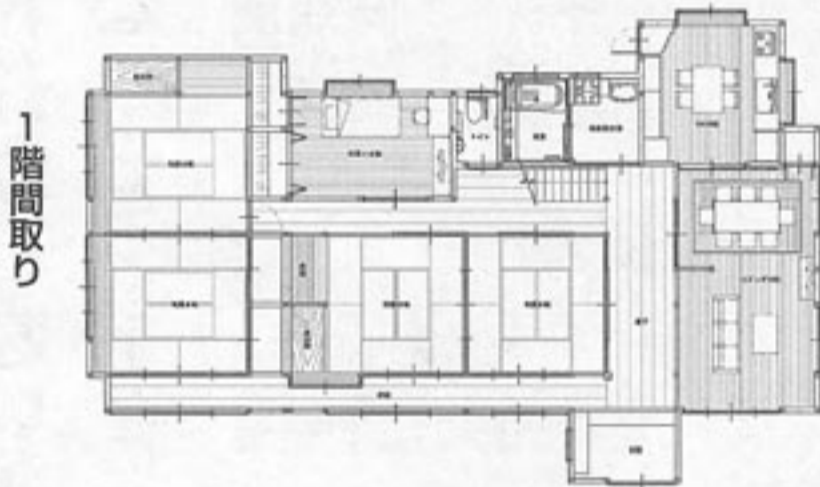
工事総額：2,800万円

施主は70歳代の老夫婦。子供たちは独立し、同じ敷地内に戸建を新築して住んでいる。歪みが生じている家に対して、不安を感じており、建て替えを検討していたが、大型リフォームを最終的には選択した。主な改善要望は建物の歪みと日照の改善の2点。



今回の物件 静岡県伊豆の国市 Fさん邸

改修後間取り



間取り変更のポイント

1階部分で大きな間取り変更を行ったのは、3部屋を1つにまとめたリビング。腰窓を掃き出し窓にし、採光面を改善すると同時に構造面での耐震性などはしっかり確保している。リビングの採光はできる限り遮らないように、構造上どうしても壁と柱を外せない箇所には光を通す耐力壁を設置した。和室や2階はほとんど間取りは変えていない。とはいえ、和室は床柱と欄間以外はほとんど構造材を入れ替えているなど、工事は大規模なものになった。

採光面での改善点



Before



After

劇的に明るい空間に生まれ変わったリビング。広さと明るさを備えた寛げる空間へと生まれ変わった。

大規模改修事例レポート

施工会社：平成建設

(静岡県沼津市)

今回は床面の高低差が最大で7cm出ていた歪んだ家の大改修事例を紹介する。設計施工を行ったのは、内製化を推し進める経営手法で全国的にも注目度の高い平成建設(静岡県沼津市)だ。

レベル差最大7cm!!歪んだ家を矯正する改修 歪みと暗さを解決して明るい終の棲家実現

今回紹介する物件は、築32年の木造在来住宅。建物の歪みが大きく、床面の高低差が様々な場所に出ていた。レベル差は最大で7cmもあり、施主は建具の傾きからそのレベル差を感じて不安な日々を送っていた。ただ、この高低差が不思議なのは原因がはっきりしない点だ。通常、不同沈下が発生して建物の基礎が歪むのならば、基礎も、隣の部屋はそれほど歪んでいない。今回の物件では、基礎の損傷はほぼなかった。また、基礎が歪んで、建物も歪んだ場合はある程度柱も傾くはずなのに、柱の傾きは最大でも1分程度でほぼ垂直に立っていることを確認しながら、構造材の大部分を入れ替えて水平にしっかりと建つ強固な建物とした。また、施主のもう一つ



秋本久雄社長

技術集団ならではの提案を

「住空間」なども活かして、営業は行なっています。昨年度のリフォーム売上は6億円ですが、ほとんど伸ばはしていかなくてはなりません。

の希望は暗かった室内を自然光溢れる明るい空間に生まれ変わらせること。和室やリビングの腰窓を掃き出しにして、太陽光を十分に取り入れるようにした。特に3室を1つの空間にしたリビングの希望は暗かった室内を自然光溢れる明るい空間に生まれ変わらせること。和室やリビングの腰窓を掃き出しにして、太陽光を十分に取り入れるようにした。特に3室を1つの空間にしたリビング